

「Global Gold September Campaign 2024」開催概要



1. 名称： Global Gold September Campaign 2024

2. テーマ：「小児がんの闘病と支援、みんなに金メダルを！
～こんな風に治療がんばってます～わたしには何ができるだろう」

3. 期間： 2024年9月1日～30日

4. 内容： 小児がんの啓発カラーゴールドのライトアップを中心にした小児がんに関する啓発活動
(各地で「Smile Action」と題した啓発活動を展開予定)



5. 主催： 日本小児がん研究グループ(JCCG)
運営： Global Gold September Campaign推進委員会

6. 目的： 【小児がんの社会啓発】

小児がんが子どもの健康と生命にとって非常に重要な問題であるということを理解していただく。子どもにもがんがあることはあまり知られていませんが、白血病や脳腫瘍などの小児がんは10～14歳の子どもの死因の第1位です。まだ救えない命を救うための治療の開発や、治療を終えた子どもがその先の長い未来を安心して健康に過ごせるようなサポート体制の確立など、課題は山積しています。

小児がんは成人がんとは異なり、ほとんどは原因が不明で予防方法がありません。生活習慣病などが原因となったり、早期検診が早期発見につながったりする成人がんとは事情が異なります。

また、小児がんの治療は厳しく長いことが多く、子どもたちや家族、医療従事者らには、なかなか社会的な声をあげる余裕がありません。そのため、乳がんのピンクリボンキャンペーンのような大きな啓発が進んでいない現状です。しかし、小児がんが生命予後や治療後の後遺症なども病気として重いことや、小児ならではのさまざまなサポートが必要とされていることは世の中に広く周知されるべきです。

【小児がんの患者さんやご家族、医療従事者らに希望やぬくもりを】

小児がんの年間の新たな発症は約2000～2500人です。また、小児がんの種類は大変多いため、疾患のそれぞれは超希少がんと言えます。全国のさまざまな地で珍しい疾患を治療することになる子どもたちやご家族は、孤独を感じがちです。また、新型コロナウイルス感染症の影響で面会等も制限されるケースが多く、ますます寂しさを抱えています。世界中で灯されるゴールドの明かりは、今小児がん向き合っている子どもたち、強い治療を乗り越えた子どもたち、そのご家族や医療従事者らの励ましとなるはずで

【世界保健機構(WHO) 小児がんグローバルイニシアチブの推進】

WHOは2018年9月に「2030年までに世界中でがんと診断された子どもたちの、少なくとも60%の生存率を達成すること」を目標とする「WHO小児がんグローバルイニシアチブ」を発表しました。世界レベルでの意識向上を通じて小児がんの優先順位を上げ、小児がんの最善の治療を提供する能力を拡大し、小児がんの治癒率が今の約2倍になり、今後10年間でさらに100万人の子どもの命が救われることを目指しています。

ゴールドセプテンバーキャンペーンはこのイニシアチブを大きく後押しするイベントのひとつです。

7. ライトアップ予定・目標施設 (2023年実績より)

①北海道(さっぽろテレビ塔)、②青森(弘前城)、③宮城(仙台スカイキャンドル)、④福島(東北電力福島支店電波塔)、⑤埼玉(さいたまスーパーアリーナ)、⑥埼玉(埼玉スタジアム2002)、⑦千葉(千葉ポートタワー)、⑧東京(東京スカイツリー)、⑨東京(東京都立小児総合医療センター)、⑩東京(調布花火)、⑪東京(調布市文化会館たづくり)、⑫神奈川(江の島シーキャンドル)、⑬神奈川(平塚駅南口広場人魚噴水公園)、⑭神奈川(小田原城)、⑮神奈川(松田山ハーブガーデン)、⑯神奈川(秦野市戸川公園)、⑰神奈川(大船観音寺)、⑱神奈川(神奈川県庁舎)、⑲神奈川(マリントワー)、⑳神奈川(横浜市庁舎)、㉑神奈川(象の鼻パーク)、㉒神奈川(横浜コスモワールド大観覧車「コスモクロック21」)、㉓神奈川(横浜ハンマーヘッド)、㉔神奈川(アニヴェ

Global Gold September Campaign 2024

～ 世界小児がん啓発キャンペーン ～ 趣意書



謹啓 みなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本小児がん研究グループ(JCCG: Japan Children's Cancer Group)は、全国の小児がんの専門家によるオールジャパンの臨床研究グループです。日本で小児がんを診療するほぼすべての大学病院・小児病院など200施設以上が参加して、小児がん患者さんの治療研究を行っています。

希少がんである小児がんの治療には、世界的な協力も欠かせません。当グループは、小児がんを啓発する世界的なキャンペーン「Global Gold September Campaign」(ゴールドセプテンバーキャンペーン)に取り組んでおります。

同キャンペーンは、毎年9月に各国それぞれの地域を象徴する建物や遺跡・橋・自然資産などを金色にライトアップし、小児がん治療の重要性を啓発するとともに、子どもたちに必要な医療や研究に「光を照らす」イベントです。小児がんの子どもたちとそこご家族、小児がん経験者らの強い思いによって始まりました。2023年は、日本では東京スカイツリーをはじめ全国69か所でライトアップ及び関連行事を行いました。子どもたちを大切に思うメッセージが多くの方に届き、患者さんからも「ライトアップを見て元気が出た」「皆で子どもたちやご家族に思いをはせることができ、つながりを感じた」などの反響がありました。

当グループは、この啓発キャンペーンを今年も開催する予定です。

小児がんの「アウェアネスリボン(Awareness ribbon)」カラーはゴールドです。この機に、乳がんの啓発カラー・ピンクのように、小児がんのゴールドも知っていただきたいと考えています。

この国際的なキャンペーンを日本で継続的に開催できることには、「ライトアップのできる各地を中心に新たに小児がんについて知っていただき、サポートにつなげる」「日本が世界と連帯し、国際的な啓発運動を加速する」という大きな意義があります。

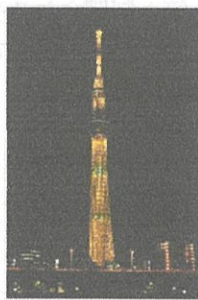
皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

謹白

※これまでのライトアップ例



千葉ポートタワー



東京スカイツリー



中部電力 MIRAI TOWER
オアシス 21 水の宇宙船



東寺



鹿児島中央駅前観覧車



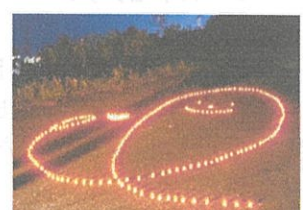
愛媛県庁



広島城



平塚駅前広場人形噴水公園



沖縄子どもホスピス予定地



Japan Children's Cancer Group

2024年5月吉日
NPO 法人 日本小児がん研究グループ(JCCG)
理事長 真部 淳、企画広報委員長 松本 公一